

風プロだより

風プロセミナーin養父

2019年11月9日（土）

兵庫県養父市の但馬長寿の郷

今回の風プロセミナーは、兵庫県養父市で、「未来へ～地域みんなで持続可能な未来を考える～」のテーマで開催しました。

Society5.0と言われる時代。地方では、少子化、学校統廃合、消滅可能性など、学校や地域社会を取り巻く環境が著しく変化しています。これからの持続可能な未来を考えた時、子供たちには、予測できない変化をチャンスと捉え、ジブンゴトとして課題に向き合い解決していく力を育てていくことが大切です。そして、そのためにも、社会全体が、立場や職種を超え、ともに風を起こしていくことが必要ではないでしょうか。

Society5.0時代に必要な人材・教育は何か。地域と学校がともにどんな未来を描き、どうアクションを起こしていくか。未来へ。ともに実践を学び、ともに応え合うことをねらいとして企画しました。

今回のセミナーは昨年の風プロ美山をきっかけに、学校・行政・地域の対話の場が実現し、全国から50名を超える学校関係者、市長部局、市民の方々、高校生まで、多くの方にご参加いただきました。

第1部 「課題先進地の挑戦」

実践報告

兵庫県養父市の地域活性化プロジェクト
京都府南丹市の学校地域協働プロジェクト
大阪府能勢町の高校魅力化プロジェクト



養父市

「人が変わっても続くしくみ」をキーワードとして、児童の可能性を引き出す小規模特認校の特色あるカリキュラムとコミュニティ・スクールの実践、持続的営農をめざしたスマート農業技術の開発、実証について報告されました。

困難を課題に変えて持続可能な社会をめざす養父市の挑戦は、学校と地域、行政と社会産業が協働する魅力ある取り組みとして私たちに新たな気づきを与えてくれました。



南丹市

「次代を担う子どもたちを育てるために」のテーマで、コミュニティ・スクールの導入による出会いとつながりが新しい価値を生み出していく実践報告でした。サイボウズのシステムを取り入れた児童虐待防止システムの構築には風プロに集う人々のネットワークも役立っていると感じました。

また、思いを紡ぎみんなで楽しく取り組む地域コーディネータの発表から、わくわく感を持った大人の活動が地域活性化につながっていることを感じました。



能勢町

能勢町からは、「未来へー地域みんなで持続可能な未来を考えるー」のテーマで実践報告がされました。

学校と地域をつなぐ活動に子ども、保護者、地域と首長部局の関係機関が連携、協働し、ふれあいを大切に高校生とともに魅力あふれる能勢のまちを学びなおす取り組みが発表されました。「首長部局等、地域関係団体・NPO・企業等との連携・協働」「1保1幼1小1中1高の校種間連携と保護者・地域住民との連携・協働」など、国の制度をうまく活用しての取組を通じて、もう一度能勢の教育をつなぎなおしたいという熱い思いが伝わってきました。



養父市

地域とともにある学校づくり

- ①小規模特設校 (もうひとつの選択)
 - カリキュラム 特色
 - コミュニケーション 英語教育の充実 (ETC) 英語の活用
 - 児童の可塑性と伸ばす
- ②コミュニティスクール 地域と子どもたちを育てたいか?
 - 人がかわっても 地域との学びの場 (地域住民) 継続的仕組み
 - 子ども園の子とちとの交流
- ③スマート農業
 - 持続的営農をめざして
 - 農業生産法人の設立
 - スマート農業環境の構築
 - 持続的営農

居場所づくり 事業すまいる。 経営はどの上に

地域住民 参加意欲を 高める工夫につい!

能勢町

能勢町の教育の仕組みづくり

- ①地域学校協働活動の取組
 - グローバル能勢 (新しい能勢のカリキュラム)
 - アフタースクール I, II
 - 教育主導 地域の方の協力
 - コミュニティスクールの導入 (保幼小中高をつなぐ)
- ②首長部局 学校と地域をつなぐ活動 → 子ども 保護者 地域 協働の取組
 - 関係機関との連携 協働
- ③高校鬼ヶ原 小中高一貫教育の取組
 - 高校生と学ぶ地方創生
 - 高校生と地域
 - 地域と理解して 高校生の人材スキル
 - 地域の方のふれあいを大切に 鬼ヶ原の能勢
 - 近江の人の人財を育てる 鬼ヶ原の能勢
 - 大いに 地域とつながる
 - 課題はあっても、もう一度 能勢の教育とつなぎ直したい!!

人がかわっても 継続的仕組みに力をつけて、具体的にその取り組みを育てたい、したいですか?

人がかわっても 継続的仕組みに力をつけて、具体的にその取り組みを育てたい、したいですか?

・人がかわっても 継続的仕組みに力をつけて、具体的にその取り組みを育てたい、したいですか?

・ラジコン草刈機 値段安い!

南丹市

- 教育環境の整備
- 次代を見据えて教育 → 地域と ともにある学校づくり
- コミュニティスクールの導入
 - 学校と地域をつなぐ
 - 地域の方の協力
 - 新しいシステムの導入
 - 地域の方の協働
 - 思いを Win-Win
 - みんなで作るものを つくりあげる
- 次代を担う子どもたちのために 人との出会いが 新しい価値を生みだしていく!

コーディネータの仕事でむずかしかったことは何ですか?

コミュニティスクールの導入で、学校や子どもたちに目に見える変化がありましたか?

第2部「創ろう、我がまちと子供たちの未来。」

今、わたしたちにできること」



第1部のまとめとしてCSマイスター大谷裕美子さんから、コミュニティ・スクールの活動による子どもの変化とその関わりの中で大人の自己肯定感が高まることが報告され、コミュニティ・スクールは心豊かな子どもたちを育てるきっかけとなることや、できることから始めるハードルの低い取り組みが大切だというお話がありました。

また、持続可能な未来のために子どものことが気になる地域の人を増やすことが重要だ、というアドバイスに会場の皆さんは大きくうなずいていらっしゃいました。

その後、参加者全員によるトークセッションが行われ「これからの子ども像」をテーマに会場は盛り上がり「地域・人を愛する子」「やりたいことをしっかり考えて行動する子」「主体的に物事を考えられる子」「心豊かに学び続ける子」「多様性を大切にする子」など、未来を担う子どもたちへの多くの思いが発表されました。

そして、「学校、地域の協働を持続可能なものにしていくために何が必要か」をたずねると「社会に開かれた教育課程」「全員が当事者」「楽しみながらやれること」「しかけ、きっかけ、声かけ」などがあげられ、最後のまとめとして「10年後の未来に向けて、今、何をするか」を問いかけに、「学校とつながり自分たちの意見が実現していく地域ってすごい。自分も地域と関わりたい」と養父市の高校生が発表し、皆さんの思いがつながり、可能性がどんどん広がっていくことを感じました。立場や職種、地域を超えて思いを共有できたこと、そして「自分たちのまちや学校、地域は、自分たちでよりよくできる」という気づきがかたちになりつつあることを実感した今回の風プロジェクトin養父でした。



僕たちには、未来を変える力がある。ともに前へ、、、



未来への風プロジェクトin養父